

報道関係各位

2024年4月3日
株式会社LIXIL

脱炭素社会の実現に向け、福岡県宗像市とLIXILが提携 「PVロールスクリーンシステム」の実証を開始

市内3か所の施設（宗像市役所、東郷地区コミュニティ・センター、城山中学校）において実証開始。“災害時のレジリエンス強化”や“省エネ”における効果に期待

株式会社LIXIL（以下 LIXIL）は、脱炭素社会の実現に向け、福岡県宗像市と協定を結び、「PV（太陽光発電）ロールスクリーンシステム」の実証を開始します。また、24年3月29日には、設置先の一つである城山中学校において実証に関する連携協定の調印式を開催しました。



（左からLIXIL 常務役員 田口和敏、伊豆美沙子 宗像市長）

「PV（太陽光発電）ロールスクリーンシステム」は、脱炭素に貢献できる技術の一つとして、LIXILが2022年に開発した既築ビルの窓まわりへ屋内から容易に後付け設置できる太陽光発電ブラインドです。夏場の日差しを遮る遮光性や、冬場の窓からの冷気の遮断する断熱性などの通常のロールスクリーンとしての機能に加え、発電や蓄電機能及び電力取出機能（USB-C PD 対応、DCジャック）を兼ね備えており、災害時のレジリエンス強化や省エネに効果が期待される製品です。

そしてこの度、福岡県宗像市と提携し、災害時の避難場所として指定されている、宗像市役所、東郷地区コミュニティ・センター、城山中学校へPVロールスクリーンを設置し、実証を行います。災害時の電力源としてのレジリエンス強化を確認するほか、日常においても遮光性や断熱性能など通常のロールスクリーンの使い方に加え、PCやスマホ、学習用タブレットなどの

電力源として利用し、省エネ効果を確認することが実験の目的です。また、省エネ効果の期待できるPVロールスクリーンを城山中学校の生徒を始めとした市民に体感してもらうことで「脱炭素社会の実現」について考えるきっかけにして欲しいという思いもこの実験に込められています。



(城山中設置のPVロールスクリーン)

LIXILは今後、「省エネ」に加え、「創エネ」の技術を有する革新的なPVロールスクリーンの普及を促進させ、脱炭素社会の実現や災害時のレジリエンス強化へ貢献し、豊かで快適な住まいの実現、ひいては社会全体がより豊かになるよう貢献してまいります。

<参考資料>

■「PVロールスクリーンシステム」特長

「PVロールスクリーンシステム」は、発電や蓄電機能及び電力取出機能（USB-C PD 対応, DC ジャック）などを兼ね備えているほか、施工性やメンテナンス性、視界の自由度とプライバシーへの配慮の両立、デザイン性にもこだわっています。また、夏場は独自構造採用により、日差しを完全に遮ることで眩しさや暑さを軽減し、冬場は断熱性などの熱的性能の向上を付与することで窓まわり全体の価値向上を実現しています。日常使いのほか、災害時のレジリエンス強化にも繋がります。



参考：2022年7月プレスリリース

[既築ビルにおける脱炭素化への貢献とBCP対応に寄与する「太陽光発電ロールスクリーンシステム」を開発し、実証実験開始](#)

本件は宗像市役所のプレスリリースでも配信をしております。

宗像市役所プレスリリース：[WEB](#)

About LIXIL

LIXILは、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEMをはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在約55,000人の従業員を擁し、世界150カ国以上で事業を展開するLIXILは、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で10億人以上の人びとの暮らしを支えています。

株式会社LIXIL（証券コード：5938）は、2023年3月期に1兆4,960億円の連結売上高を計上しています。

LIXILグローバルサイト：<https://www.lixil.com/jp/>

LIXIL Facebook（グローバル向け）：<https://ja-jp.facebook.com/lixilglobal/>

LIXIL Facebook（日本国内向け）：<https://www.facebook.com/lixilcorporation>